

台風18号における出水で、鶴見川流域の洪水調節施設が活躍しました

鶴見川流域では、鶴見川流域水協議会として国、東京都、神奈川県、流域自治体が鶴見川の治水・環境・防災面の施策をはじめ、鶴見川の流域を対象とした水に関する計画「水マスタープラン」を定め、その計画を推進すべく協議会が一体となって取り組んでいるところです。

その中の洪水調節施設であります、「鶴見川多目的遊水地（横浜市港北区小机地先）」及び「川和遊水地（横浜市都筑区川和町地先）」が、台風18号で洪水調節機能を発揮しました。

10月7日から降り続けた雨は、8日12時00分までに鶴見川流域で平均累加雨量が183mmに達しました。特に8日4時00分には、時間雨量30mm以上の強い雨が降りました。

この洪水により、鶴見川の水位が上昇し、8日3時36分より洪水調節を目的とする「鶴見川多目的遊水地」に水が流入し始め、約64,000m³（速報値）の水を貯留しました。また、「川和遊水地」においても8日3時36分に水が流入し始め、約12,000m³（速報値）の水を貯留しました。

鶴見川多目的遊水地では、平成15年6月の運用開始以来、7回目の洪水調節となり、川和遊水地では平成20年4月の運用開始以来、3回目の洪水調節になります。

今後とも、流域一体となって防災体制に万全を期します。

【【資料は巻末に添付しています】】

平成21年10月8日15:00発表

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

発表記者クラブ	竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川県建設記者会
問い合わせ先	<p>* 国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 副所長 山口 充弘 TEL.045-503-4000(代表) ・ 流域調整課長 渡部 孝 TEL.045-503-4009(直通)

鶴見川水系洪水調節施設の活躍状況



鶴見川水系洪水調節施設の活躍状況 (鶴見川多目的遊水地)

【鶴見川多目的遊水地 貯留状況】



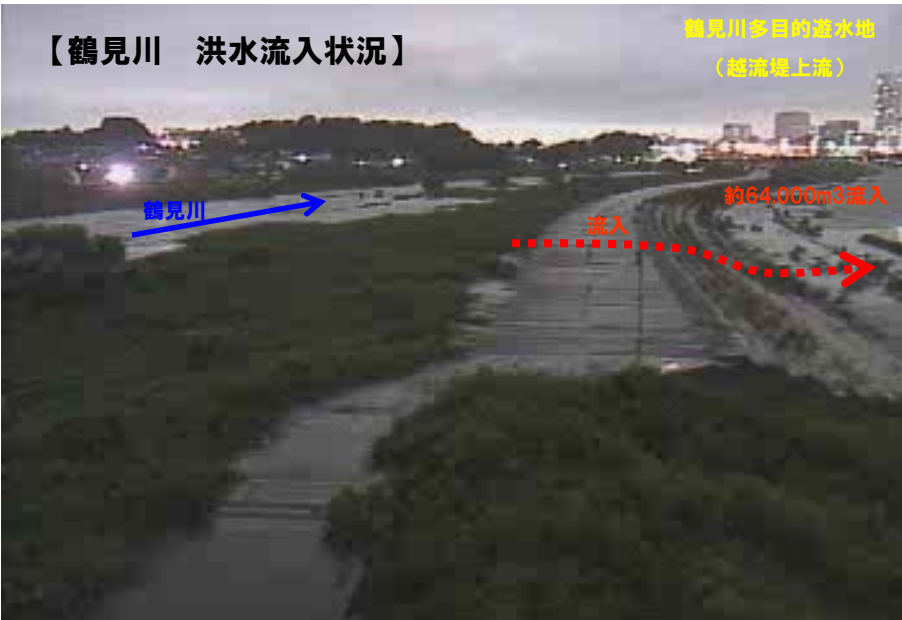
【鶴見川 洪水流入状況】

鶴見川多目的遊水地
(越流場上流)

約64,000m³流入

流入

鶴見川



【鶴見川 洪水流下状況】

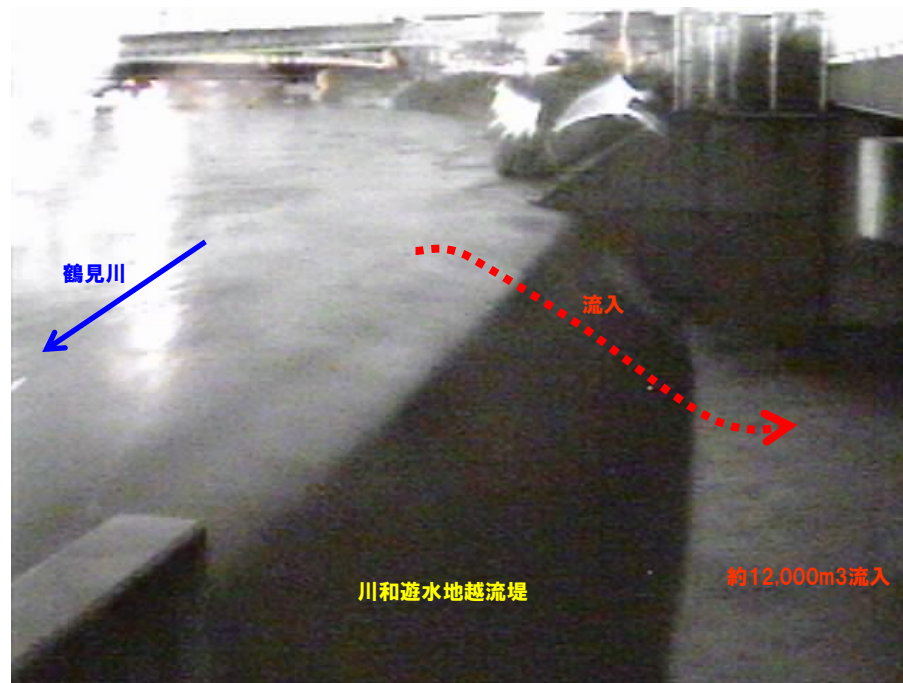
鶴見川10.3k付近

鶴見川



鶴見川水系洪水調節施設の活躍状況 (川和遊水地)

【川和遊水地 流入状況】



鶴見川における洪水対応（鶴見川水系遊水地流入実績）

【鶴見川多目的遊水地】

No.	年月日	出水名	流入量
1	平成15年8月15日	前線による豪雨	約7,000m ³
2	平成16年10月9日	台風22号	約1,250,000m ³
3	平成16年10月20日	台風23号	約80,000m ³
4	平成17年9月4日	前線による豪雨	約50,000m ³
5	平成20年5月20日	前線による豪雨	約9,000m ³
6	平成20年8月30日	前線による豪雨	約50,000m ³
7	平成21年10月8日	台風18号	約64,000m ³

※総貯留量約3,90,000m³

【川和遊水地】

No.	年月日	出水名	流入量
1	平成20年8月29日	前線による豪雨	約32,000m ³
2	平成20年8月30日	前線による豪雨	約3,000m ³
3	平成21年10月8日	台風18号	約12,000m ³

※総貯留量約120,000m³